

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月26日

上場取引所 大

上場会社名 東邦レマック株式会社

コード番号 7422 URL <http://www.toho-lamac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 庄治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 沼田 茂義

TEL 03-3832-0131

四半期報告書提出予定日 平成24年11月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の業績(平成23年12月21日～平成24年9月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	12,658	4.3	305	△17.9	352	△5.9	191	△7.5
23年12月期第3四半期	12,137	6.6	371	159.6	374	142.2	206	18.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	37.47	—
23年12月期第3四半期	40.48	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	11,727	5,983	51.0
23年12月期	11,220	5,753	51.3

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 5,983百万円 23年12月期 5,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	7.00	—	8.00	15.00
24年12月期	—	7.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	6.00	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成23年12月21日～平成24年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	△3.7	510	△36.7	550	△34.5	247	△50.1	48.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	5,120,700 株	23年12月期	5,120,700 株
24年12月期3Q	19,237 株	23年12月期	18,287 株
24年12月期3Q	5,101,558 株	23年12月期3Q	5,102,663 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要の継続的な発現により景気回復が期待されたものの、世界景気の減速等を背景として回復の動きに足踏みが見られ、またデフレからの脱却もままならず、先行きの見通しが立たない状況が続いております。さらにエネルギーコストの上昇や雇用情勢の改善の鈍化等、我々を取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況の下、当社は紳士靴が苦戦し、前年同期を下回りましたが、婦人靴・サイクルが前年を上回る販売数量・金額を記録した結果、全体でも売上高・売上総利益ともに前年同期を上回ることができました。営業利益につきましては、販売単価の下落・販売費及び一般管理費の増加により、前年同期を下回りました。

経常利益につきましては、営業外損益が前年を上回る収益(46百万円)となりましたが、営業利益減少の影響を受けて前年同期を上回ることができず、四半期純利益につきましても固定資産除却損や投資有価証券評価損等の特別損失は減少したものの前年同期を上回ることではできませんでした。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は126億58百万円(前年同期比4.3%増)、売上総利益は30億53百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は3億5百万円(前年同期比17.9%減)、経常利益は3億52百万円(前年同期比5.9%減)となり、四半期純利益は1億91百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は、前事業年度末に比べ2億96百万円増加し、85億68百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が4億37百万円減少した一方で、現金及び預金が1億34百万円、商品が4億97百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2億9百万円増加し、31億58百万円となりました。これは、主に有形固定資産が35百万円減少した一方で、投資その他の資産の投資有価証券が1億96百万円、投資不動産が53百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ5億6百万円増加し、117億27百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前事業年度末に比べ2億46百万円増加し、51億82百万円となりました。これは、主に短期借入金1億50百万円、未払法人税等1億83百万円それぞれ減少した一方で、支払手形及び買掛金が5億55百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ30百万円増加し、5億61百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ2億77百万円増加し、57億43百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前事業年度末に比べ2億29百万円増加し、59億83百万円となりました。これは、主に利益剰余金が1億14百万円、その他有価証券評価差額金が1億14百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期通期の業績につきましては、国内外の景気の先行き不安からくる個人消費の低下等、今後の見通しに不確実な要素が多いことから、平成24年2月3日に公表いたしました業績予想を据え置いております。今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年12月20日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,703	1,188,789
受取手形及び売掛金	5,660,001	5,222,590
商品	1,421,415	1,919,342
その他	137,611	239,841
貸倒引当金	△1,742	△1,631
流動資産合計	8,271,989	8,568,932
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	433,118	409,435
土地	1,362,055	1,354,469
その他(純額)	48,879	44,228
有形固定資産合計	1,844,053	1,808,133
無形固定資産		
投資その他の資産	66,547	55,048
投資有価証券	670,732	866,814
関係会社株式	8,368	8,368
投資不動産(純額)	158,144	211,638
その他	205,203	214,395
貸倒引当金	△4,856	△6,223
投資その他の資産合計	1,037,591	1,294,992
固定資産合計	2,948,192	3,158,173
資産合計	11,220,182	11,727,106
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,494,763	3,050,683
短期借入金	1,250,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	69,760	60,960
未払法人税等	243,353	60,242
賞与引当金	55,365	117,980
その他	823,030	792,726
流動負債合計	4,936,273	5,182,592
固定負債		
長期借入金	66,320	20,600
退職給付引当金	248,148	259,269
役員退職慰労引当金	82,391	92,301
資産除去債務	2,172	2,186
その他	131,471	186,876
固定負債合計	530,503	561,232
負債合計	5,466,776	5,743,824

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年12月20日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,720	961,720
資本剰余金	838,440	838,440
利益剰余金	3,870,237	3,984,858
自己株式	△9,822	△10,321
株主資本合計	5,660,574	5,774,697
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,097	207,333
繰延ヘッジ損益	△266	1,251
評価・換算差額等合計	92,831	208,584
純資産合計	5,753,406	5,983,281
負債純資産合計	11,220,182	11,727,106

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年12月21日 至平成23年9月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年12月21日 至平成24年9月20日)
売上高	12,137,624	12,658,459
売上原価	9,099,828	9,604,625
売上総利益	3,037,795	3,053,834
販売費及び一般管理費	2,665,917	2,748,665
営業利益	371,877	305,168
営業外収益		
受取利息	1,674	3,043
受取配当金	11,426	9,905
仕入割引	3,086	2,684
受取賃貸料	22,644	25,435
デリバティブ評価益	18,499	—
為替差益	—	2,144
保険解約返戻金	8,266	2,415
その他	9,476	10,123
営業外収益合計	75,074	55,752
営業外費用		
支払利息	6,399	4,907
手形売却損	1,676	1,697
貸与資産減価償却費	1,490	2,305
為替差損	60,244	—
その他	2,997	—
営業外費用合計	72,808	8,910
経常利益	374,143	352,011
特別利益		
固定資産売却益	20	351
投資有価証券売却益	1,188	264
事業分離における移転利益	1,016	—
特別利益合計	2,225	616
特別損失		
固定資産除却損	2,844	302
固定資産売却損	22	88
投資有価証券売却損	80	—
投資有価証券評価損	1,304	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,379	—
特別損失合計	13,631	391
税引前四半期純利益	362,737	352,236
法人税、住民税及び事業税	178,380	205,026
法人税等調整額	△22,217	△43,941
法人税等合計	156,162	161,085
四半期純利益	206,575	191,150

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。